

第7回 日本オープンイノベーション大賞

賞名	プロジェクト名
内閣総理大臣賞	産学官連携による 日本初・世界最小の月面ロボットSORA-Qの開発
科学技術政策担当大臣賞	デジタル社会を支える安全な次世代無線LANローミング基盤の 国際共同開発と事業創出・社会実装
総務大臣賞	官民連携オープンイノベーションによる 自動運転車向け合流支援情報提供システムの開発
文部科学大臣賞	老舗粘土メーカーと大学との連携で誕生した 革新的3次元細胞培養技術の開発
厚生労働大臣賞	AIを用いた胎児不整脈診断支援システムの開発 ～胎児不整脈の診断を早く、正確に～
農林水産大臣賞	食品の安全性確保と食品ロス削減に向けた MALDI-TOF MS微生物同定コンソーシアム活動
経済産業大臣賞	HVC KYOTO (Healthcare Venture Conference KYOTO)
国土交通大臣賞	奄美大島瀬戸内町における ドローンを活用した平時有事対応住民向けサービス
環境大臣賞	超低炭素型コンクリートを社会実装するための 木質バイオマス燃焼灰の資源化技術の実証開発
スポーツ庁長官賞	住友生命とPREVENTによる 『新結合型オープンイノベーション』の取組み
経団連会長賞	起業家を生み、事業を創り出す、進化する 大企業発オープンイノベーション「docomo STARTUP」
日本学術会議会長賞	医療現場の革新へ！医師の働き方改革を目指す 医療大規模言語モデルの研究開発と実用化



「SORA-Q」を手を笑顔の城内科学技術政策担当大臣（前列中央）とJAXAの平野氏（前列中央右）ら

AI-Qの開発」が決定した。同制度は、オープンイノベーションのロールモデルとなる先導的・独創的な取り組みを表彰し、日本国内のイノベーション創出を加速するため、2018年に創設された。政府各省庁の担当分野ごとに大臣賞、また、経済団体、学術団体の会長賞を設けている。

SORA-Qは、JAXAと㈱タカラミ1、ソニーグループ(株)、同志社大学が共同開発した超小型の変形型月面探査ロボット。宇宙関連技術、IoT技術、そして、タカラミ1の玩具技術が融合したユニークな取り組みだ。SORA-Qは2023年9月、JAXAの月着陸実証機「SLIM」に搭載され、日本初の月面着陸と月面の撮影に成功。世界最小・最軽量の月面探査ロボットとなった。

表彰セレモニーで、JAXA主任研究開発員の平野大地氏は「オープンイノベーションでは、バックグラウンドが異なる方や企業が集まって一つの取り組みを行う。その際、コミュニケーションをとることが難しいこともあると思う。しかし、今回、風通しの良いコミュニケーションがとれた。そのおかげで、さまざまな課題をクリアでき、月面撮影などの成果を達成できた。ご協力いただいたパートナーの皆さまに感謝申し上げたい」と受賞の喜びを語った。

日本オープンイノベーション大賞 内閣総理大臣賞に月面ロボット「SORA-Q」

第7回日本オープンイノベーション大賞の発表および表彰セレモニーが2月5日、内閣府庁舎で執り行われ、最高賞の「内閣総理大臣賞」には宇宙航空研究開発機構（JAXA）などによるプロジェクト「産学官連携による日本初・世界最小の月面ロボットSORA-Q」が選ばれた。